

PROTECT×CHANGE



水にかかわるインフラを創造します

## 個人投資家説明会

2017年9月

株式会社 **ダイキアキス**

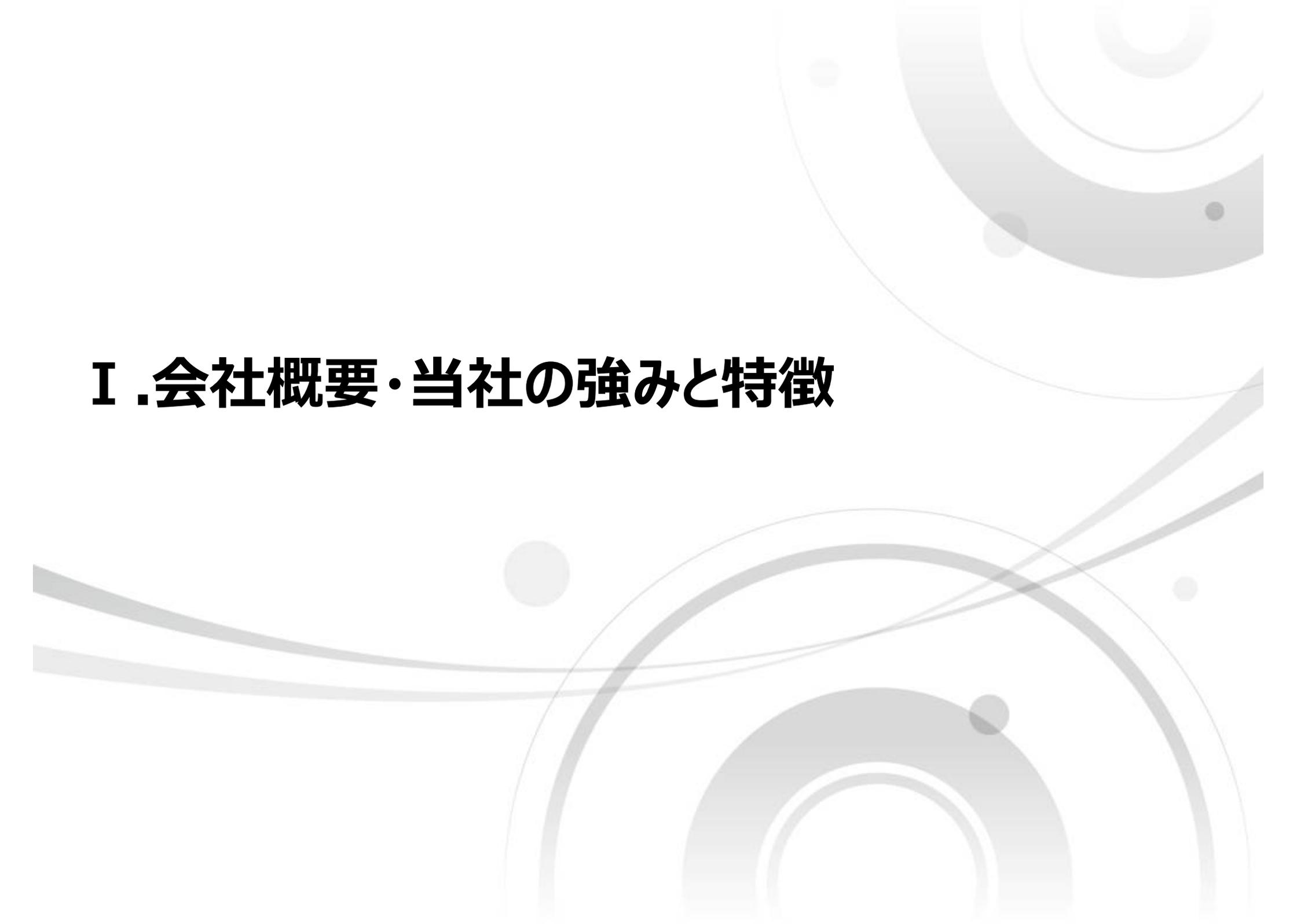
証券コード：4245（東証1部）

# 本日の説明内容

---

I. 会社概要・当社の強みと特徴	2
II. 成長戦略	17
III. 業績推移および株主還元	28
Appendix.	32

# I .会社概要・当社の強みと特徴



# 1. コーポレートスローガン

コーポレートスローガン

# PROTECT x CHANGE

“プロテクト バイ チェンジ”

## PROTECT

地球環境を**守る**。

守るべきものは**守る**。

企業使命

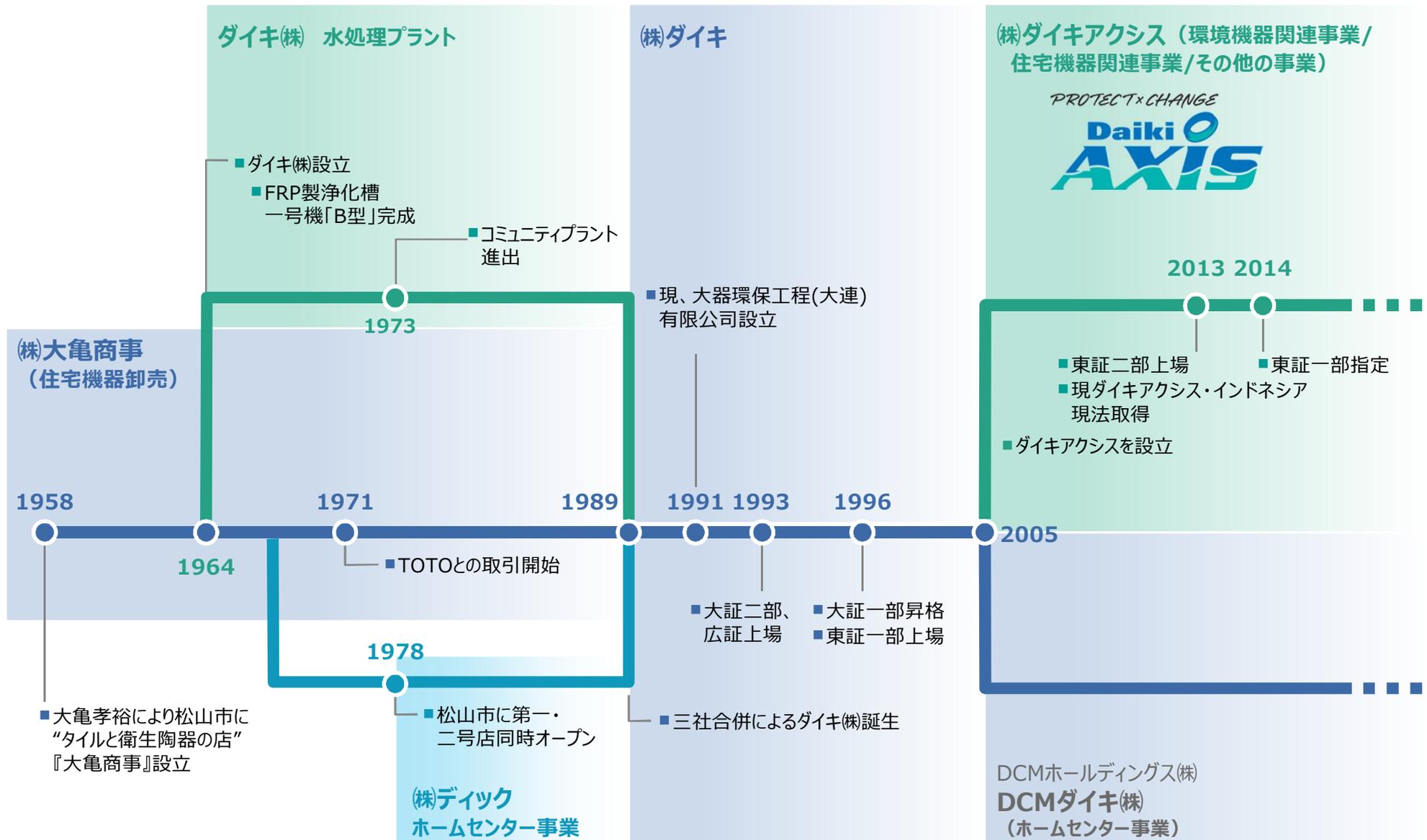
企業姿勢

## CHANGE

人類の未来を**変える**。

変えるべきものは**変える**。

## 2. 沿革



### 3. 会社概要

会社名	株式会社 ダイキアクシス	Daiki Axis Co.,Ltd.
本社	松山本社 愛媛県松山市美沢一丁目9番1号 東京本社 東京都中央区東日本橋2-15-4 PMO 東日本橋 8F	
設立	2005年7月12日	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種排水処理装置の設計・施工・維持管理</li> <li>● 合成樹脂等による製品の製造販売および設計・施工</li> <li>● 各種建設材料・住宅設備機器の販売・施工</li> <li>● 小形風力発電機の製造・販売</li> <li>● 飲料水の製造・販売</li> <li>● 植物系廃食用油を原料とするバイオディーゼル燃料の精製・販売 および精製プラントの販売</li> </ul>	
売上高	32,810百万円	(連結/2016年12月期)
経常利益	1,136百万円	(連結/2016年12月期)
親会社株主に帰属 する当期純利益	648百万円	(連結/2016年12月期)
資本金	1,983百万円	(連結/2016年12月期末)
従業員数	842名※	(連結/2017年6月末) ※内、パートタイマーおよび契約社員139名
証券コード	4245 東証第一部	

## 4. ダイキアクシスグループ概要

- 子会社を活用して環境機器関連事業を補完、海外展開
- その他の事業のうち小形風力発電機関連事業等を子会社で実施

### ダイキアクシスグループ

環境機器関連事業

住宅機器関連事業

その他の事業



# 株式会社 ダイキアクシス

#### 国内

	株式会社ダイテク	松山	浄化槽や給排水施設の保守点検、建物管理
	株式会社 環境分析センター	松山	環境計量証明事業所として、水質、大気、土壌などを分析
	株式会社トープ	名古屋	東海エリアを中心に各種水処理施設の設計・施工を展開
	Life & Ecology Creator レッツクリエイティブ株式会社	東京	環境プラント事業等の展開

#### 海外

	大器環保工程(大連)有限公司		汚水処理装置、中水・ろ過装置等を設計、施工、販売する海外拠点
	 PT. DAIKI AXIS INDONESIA		浄化槽製造を行う東南アジア進出の拠点
	 DAIKI AXIS SINGAPORE PTE.LTD.		アジア統括会社

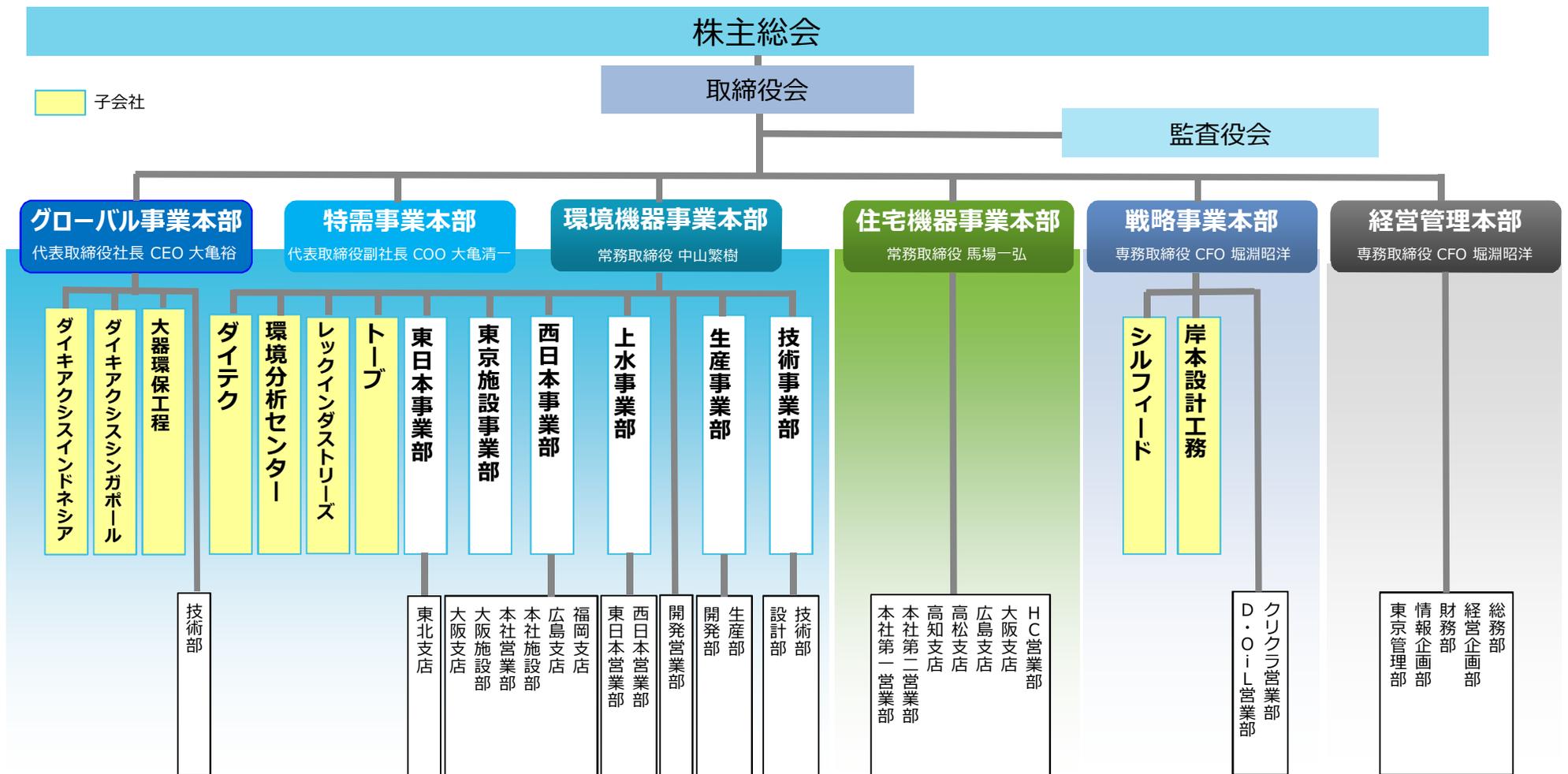
株式会社シルフィード  
  
 東京  
 小形風力発電機の  
 研究開発、販売・施工

株式会社岸本設計工務  
  
 松山  
 土木工事(推進工事)、  
 売電、不動産賃貸等

## 4. ダイキアクシスグループ概要(グループ組織機構図(2017/4/1付))

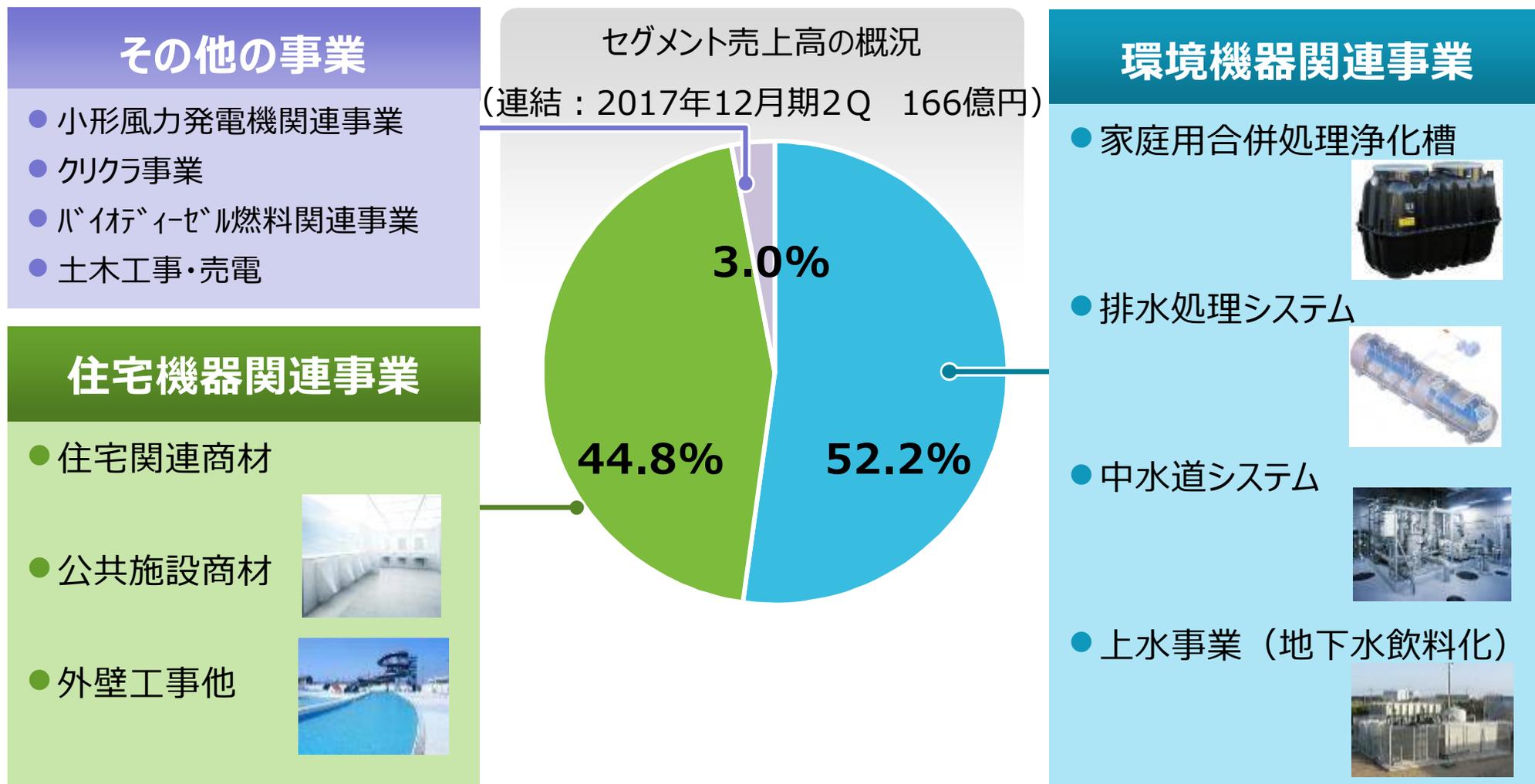
- 事業本部・事業部制へ変更し、各事業に応じた適格かつ迅速な意思決定を図る
- グローバル事業本部を社長自ら陣頭指揮を執り、意思決定や執行の更なるスピードアップを図る

グループ組織機構図

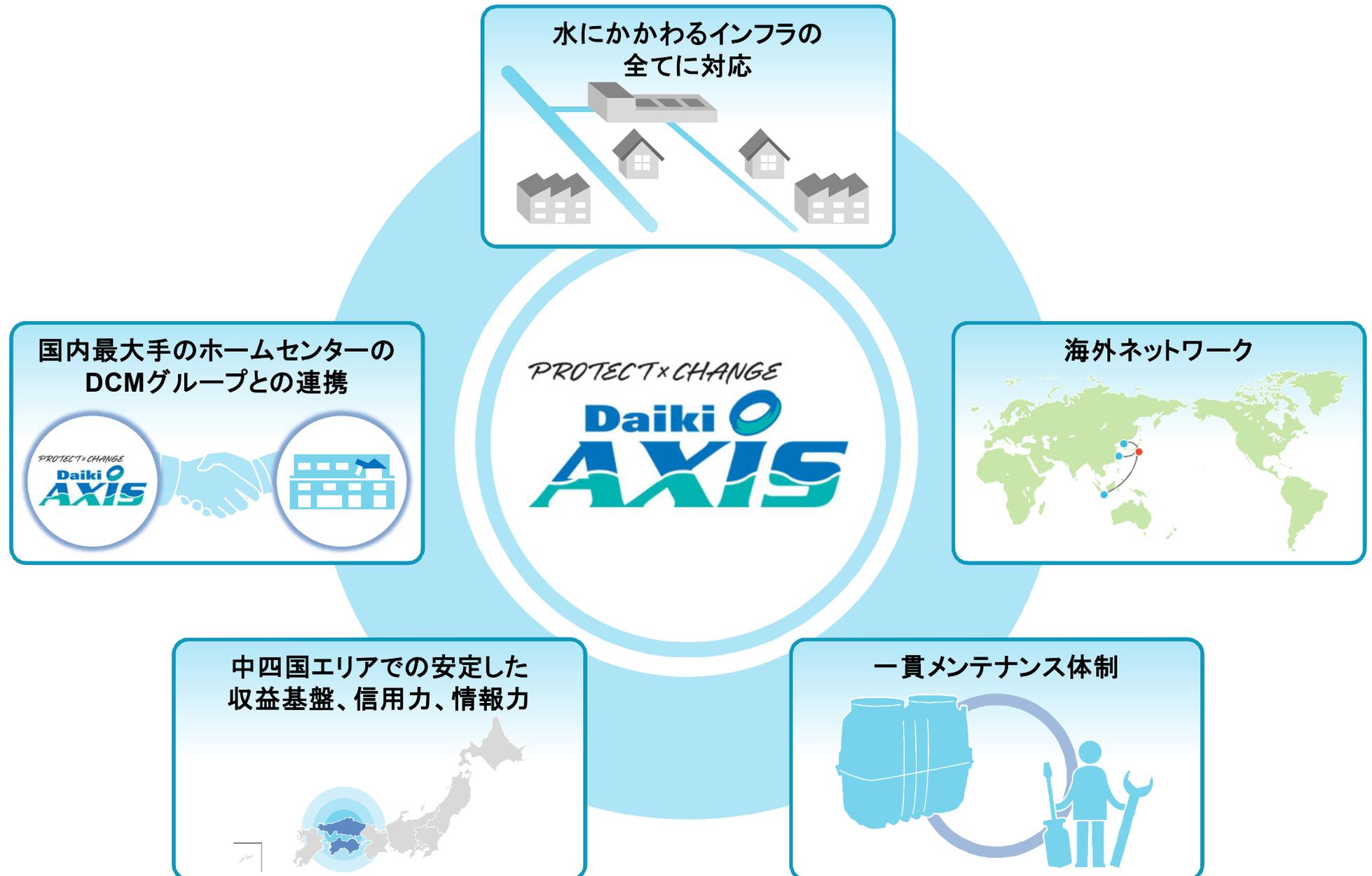


## 4.ダイキアクシスグループ概要 事業構成 全般

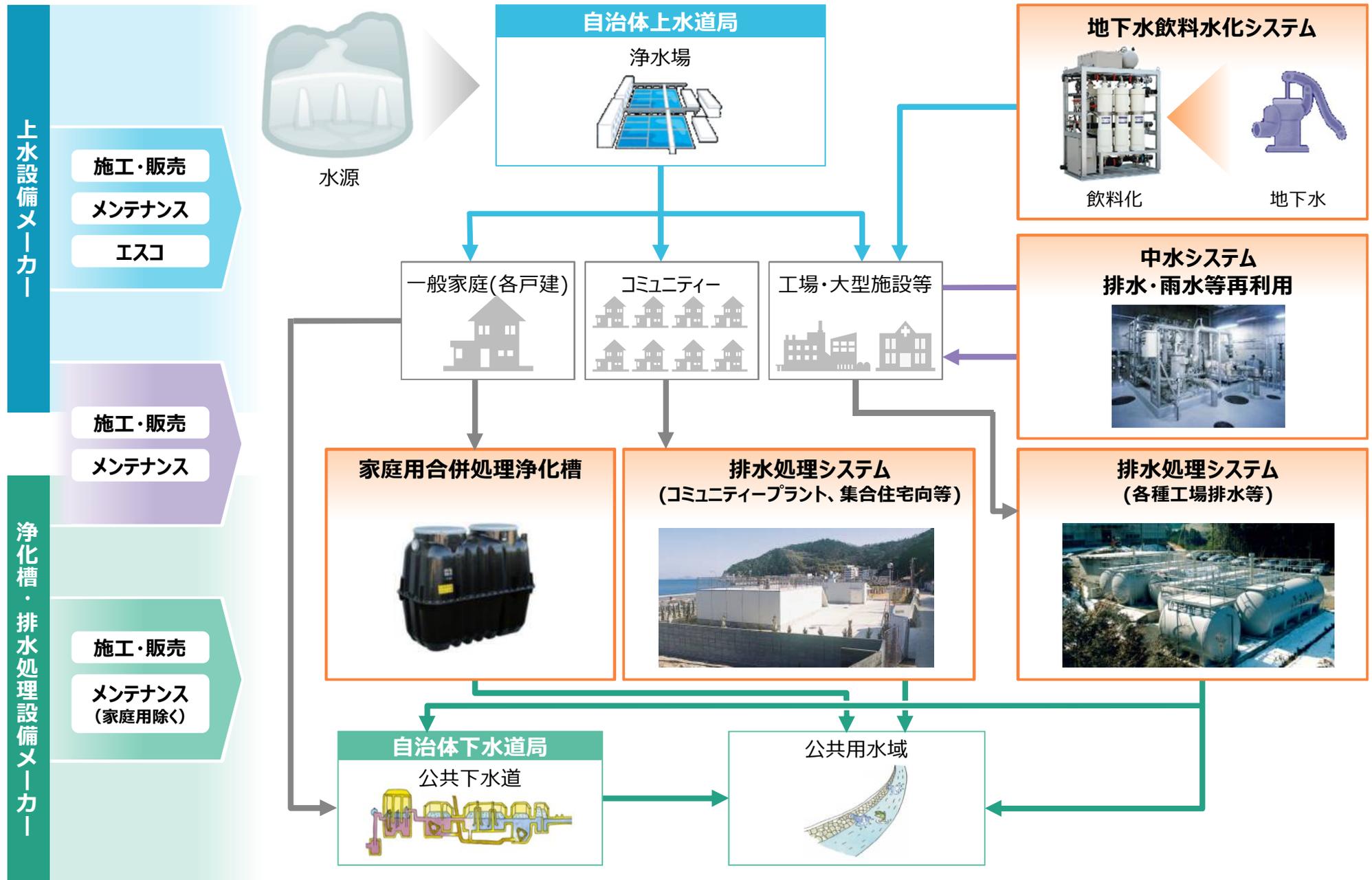
- 環境機器関連事業と住宅機器関連事業が二本柱
- 環境関連のその他の成長事業にも進出



## 5. 当社の強みと特徴



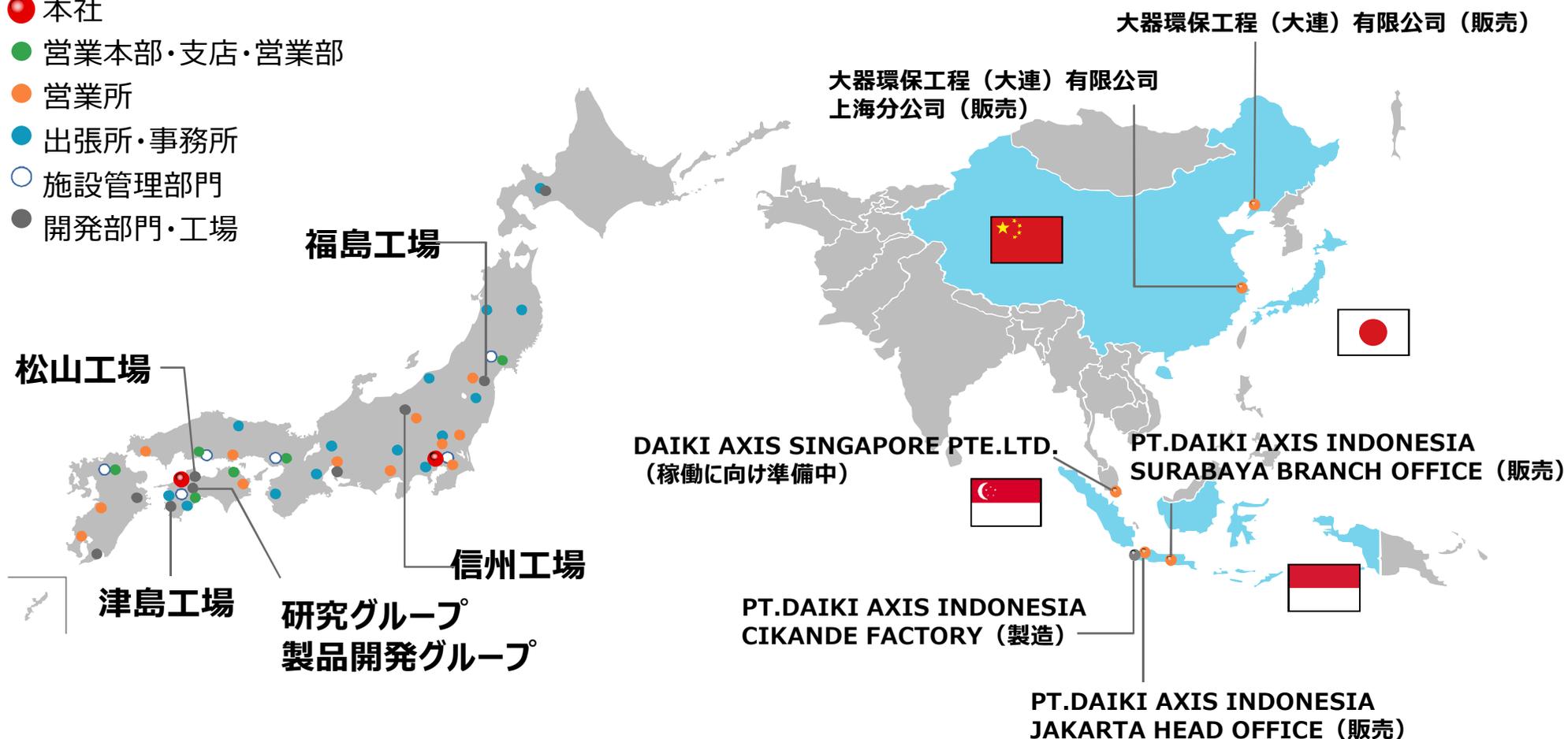
# 6. 環境機器関連事業 <水に関わるインフラの概要>



## 6. 環境機器関連事業 <事業ネットワーク>

- 全国の主要都市をカバー、研究開発を推進、4か所の工場で生産
- 大栄産業のネットワークを活用、効率化も推進
- 海外は中国に2拠点（販売）、インドネシア3拠点（製造1拠点・販売2拠点）、シンガポール1拠点(稼働に向け準備中)

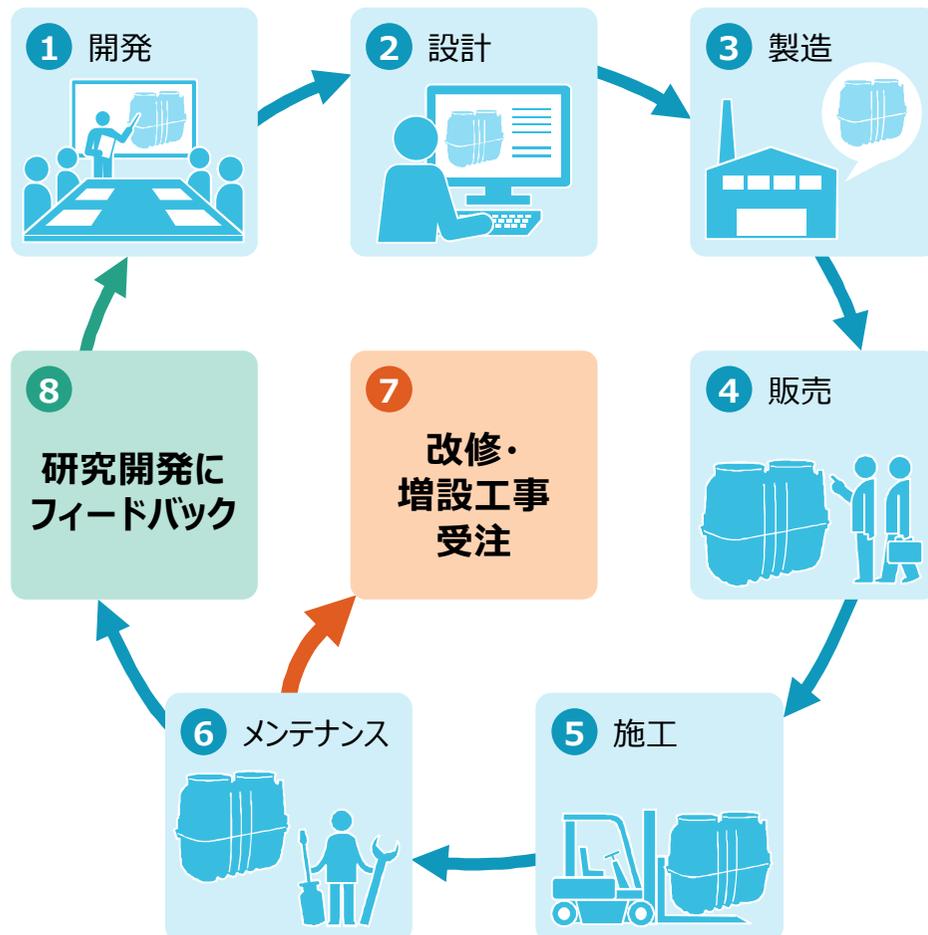
- 本社
- 営業本部・支店・営業部
- 営業所
- 出張所・事務所
- 施設管理部門
- 開発部門・工場



## 6. 環境機器関連事業 <一貫メンテナンス体制>

- 設計、製造、施工、販売、メンテナンス、分析まで一貫した体制（24時間365日体制）
- 継続的に顧客と接することで中長期修繕計画の提案が可能、また、研究開発にもフィードバック

### 一貫メンテナンス体制の流れ



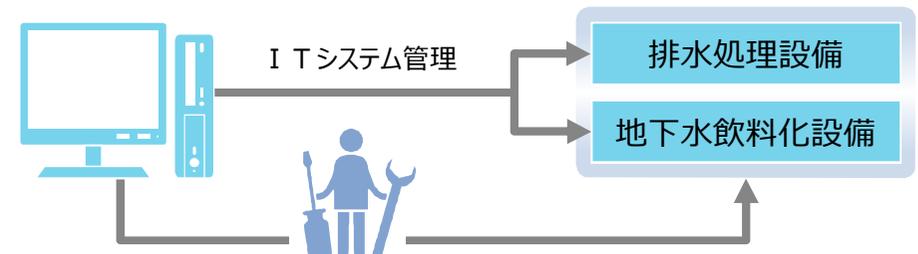
### 全国チェーン店の取り込み

- 全国ネットの強みを生かし、チェーン展開している企業への提案推進
- 指定管理者制度物件の取り込み：建物管理業務を行うグループ子会社（ダイテク）と連携し、包括的メンテ受注の推進を図る



### 設備メンテナンス管理システム

- 新たに導入した『設備メンテナンス管理システム』を活用し、「機会損失の防止」および「外注コスト低減・内製化」を図る



## 7. 住宅機器関連事業 <住宅関連商材>

- 住宅関連商材はTOTOの特約店としてシステムキッチン、トイレ、ユニットバスを元請のゼネコン、地場建築業者、ハウスメーカーに販売、ホームセンターにも専門部署を設置して販売
- 公共施設商材は体育館フロアーやプールなど行政官庁に販売、工事施工も併せて実施
- 外壁工事はホテルやマンションのタイル工事、工場建物の屋根工事などに実績

### 安定した収益基盤、信用力

#### 住宅関連商材



システムトイレ



システムバス



システムキッチン

#### 公共施設商材



スライダープール



愛媛県武道館 (床)

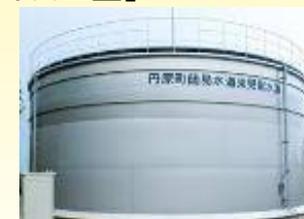
#### 外壁工事他



観光・農業用の  
「大規模ガラス温室」



愛媛新聞社本社社屋  
(外壁)



水回り技術ノウハウを  
生かした「貯水タンク」

## 7. 住宅機器関連事業 <事業ネットワーク>

- 住宅機器関連事業は近畿・中国・四国地域に展開
- 特にエリアごとに拠点を有している四国地域は営業力が強い

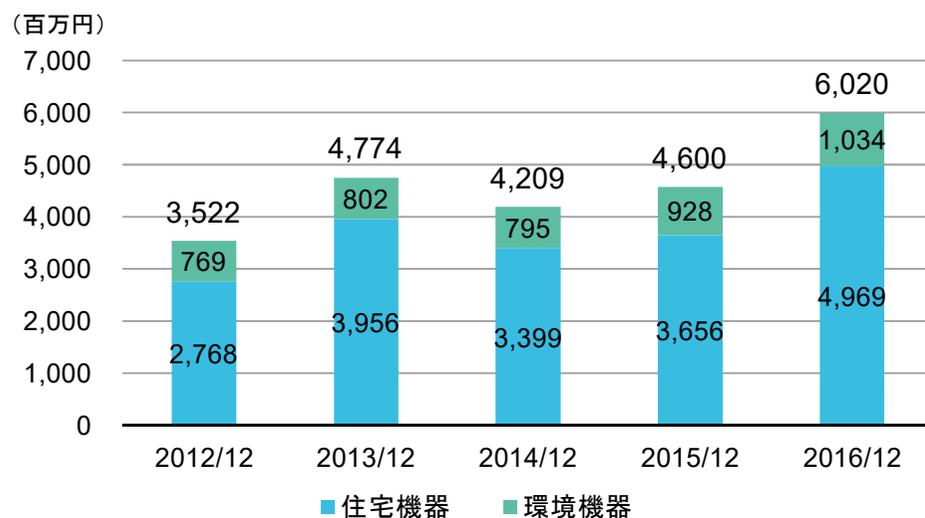
### 情報力



## 7. 住宅機器関連事業 <DCMグループとの連携>

- ダイキ、カーマ、ホームマックのホームセンターネットワークが住宅機器関連事業の最強チャネル
- ホームセンター店舗の建築や管理も数多く実施

### DCMグループ向け売上高



### 住宅機器関連事業

- キッチン、バス、トイレ等の住宅商材の販売
- リフォーム業者向けのプロ用商材の販売
- 店舗建築工事



### DCMグループ出店店舗数

	2015/2	2016/2	2017/2	2017/5
DCMカーマ	149	156	167	168
DCMダイキ	161	157	158	159
DCMホームマック	249	262	277	278
DCMサンワ		34	33	33
くろがねや			22	21
ケーヨー			183	181
合計	559	609	840	840

### 環境機器関連事業

- 店舗浄化槽設備工事・メンテナンス
- 店舗管理業務（清掃・消防・電気等点検業務）



## 8. その他の事業 <クリクラ事業>

- 高度な水処理技術を生かしたクリクラ事業。愛媛県および広島市で展開。
- 栄養補助食品なども宅配リストとして追加しBtoCチャネルの強化に取り組む。

### クリクラ事業



#### クリクラの特徴

100万人のお客様に選ばれているのには理由があります。

美味しい・便利・安心・安い  
クリクラが選ばれる4つの理由



### ～ 宅配エリア ～

#### 愛媛県



【愛媛県】

中予地区：松山市、東温市、砥部町、松前町、伊予市  
東予地区：四国中央市、新居浜市、西条市、今治市  
南予地区：大洲市、八幡浜市、内子町、西予市、  
宇和島市、愛南町

#### 広島県



【広島県】

広島市 海田町・坂町・府中町

※両県とも島しょ部・一部地域は除く

### ～ 宅配リストに追加 ～ 「ウルトラグルコサミンN」



※焼津水産化学工業(株)との共同開発



クリクラ  
サーバー  
L

クリクラ  
サーバー  
S

## II. 成長戦略

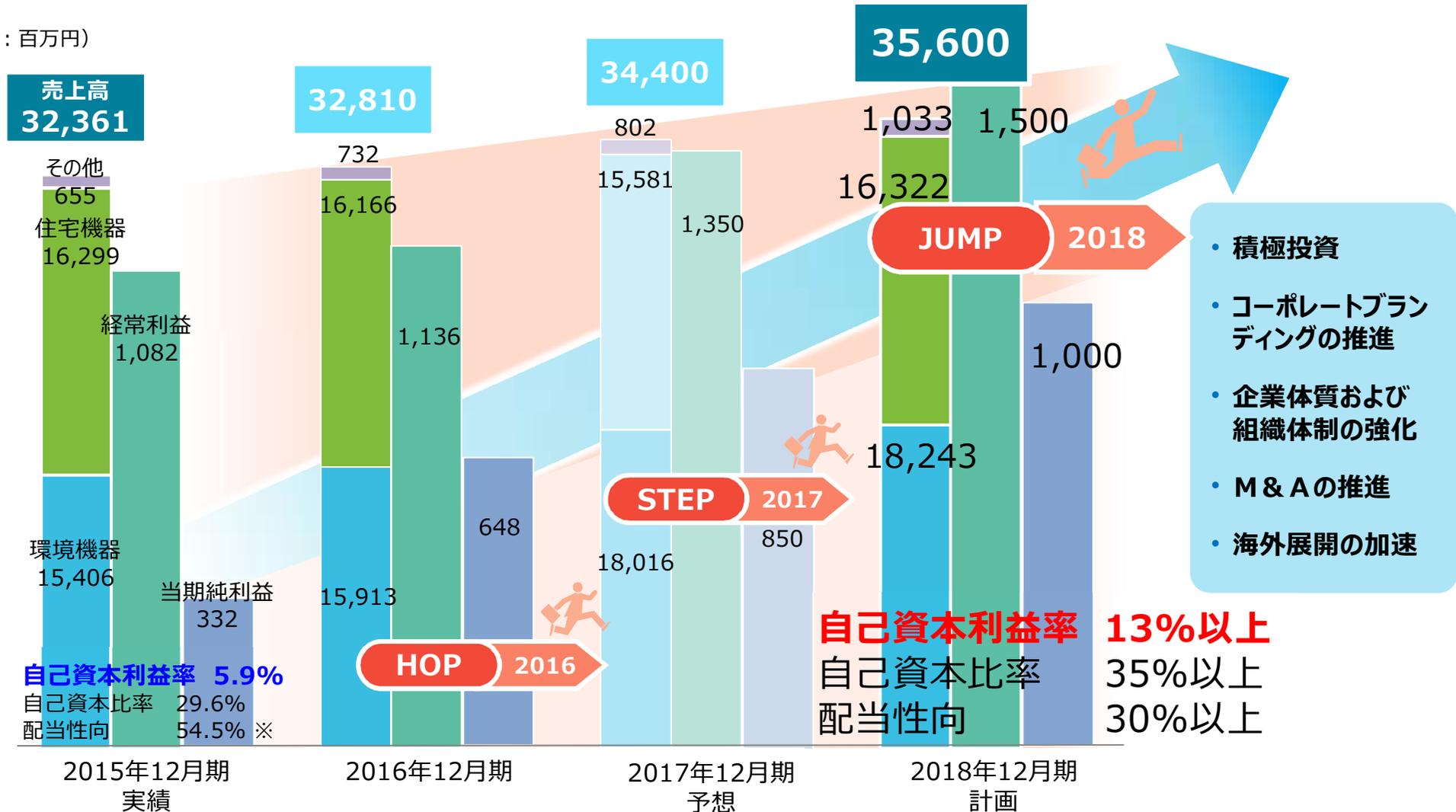
The background features a series of overlapping, semi-transparent geometric shapes. In the top right, there are concentric circular arcs and a solid grey arc. In the bottom center, there is a large, thick grey arc with a white inner border. A thin grey line curves across the middle of the page. Several small grey circles are scattered throughout the design.

# 1. 中期経営計画「V-PLAN60」進捗状況（2016～2018）

## V-PLAN60

HOP-STEP-JUMP

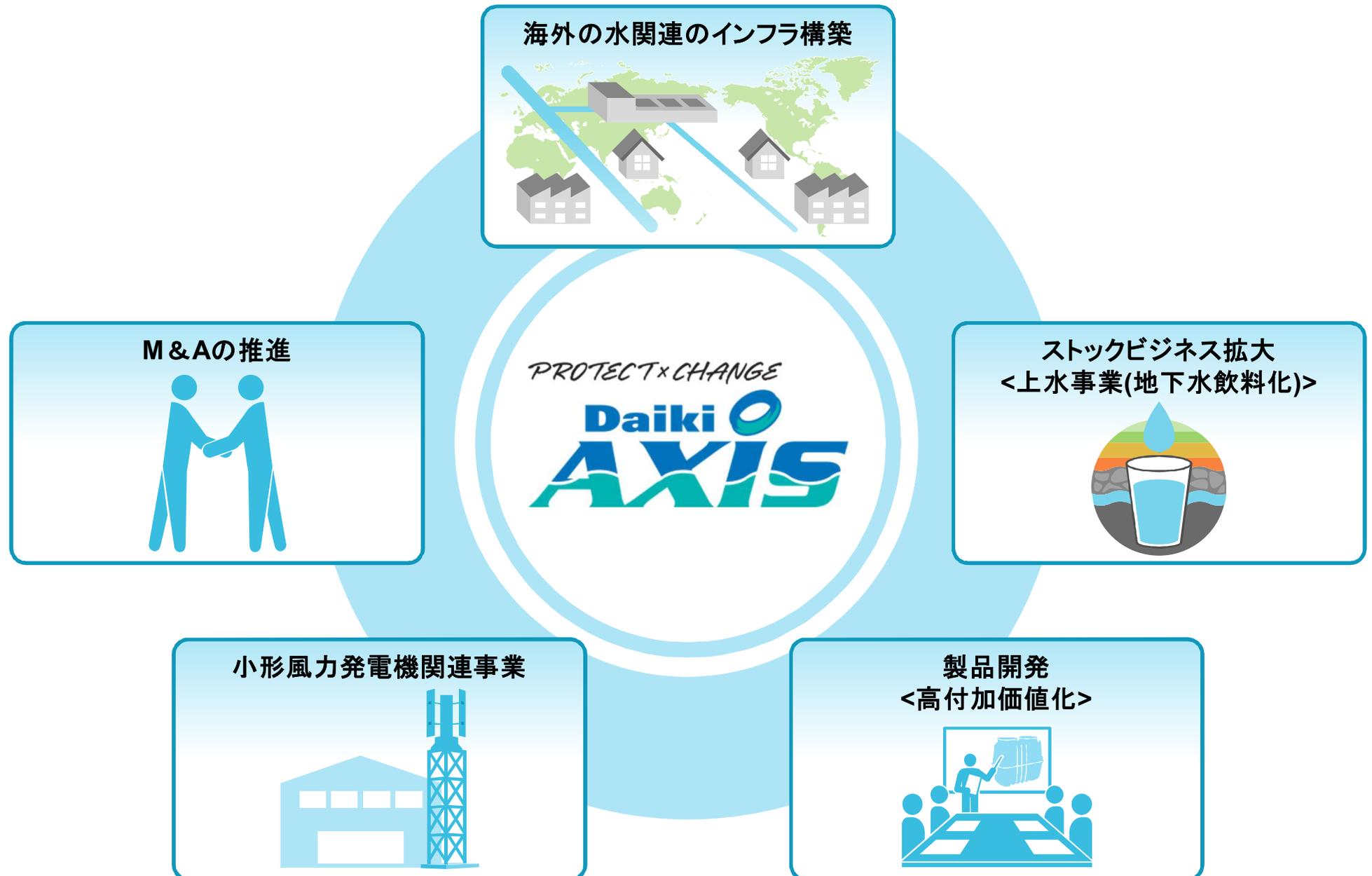
（単位：百万円）



- ・ 積極投資
- ・ コーポレートブランディングの推進
- ・ 企業体質および組織体制の強化
- ・ M & Aの推進
- ・ 海外展開の加速

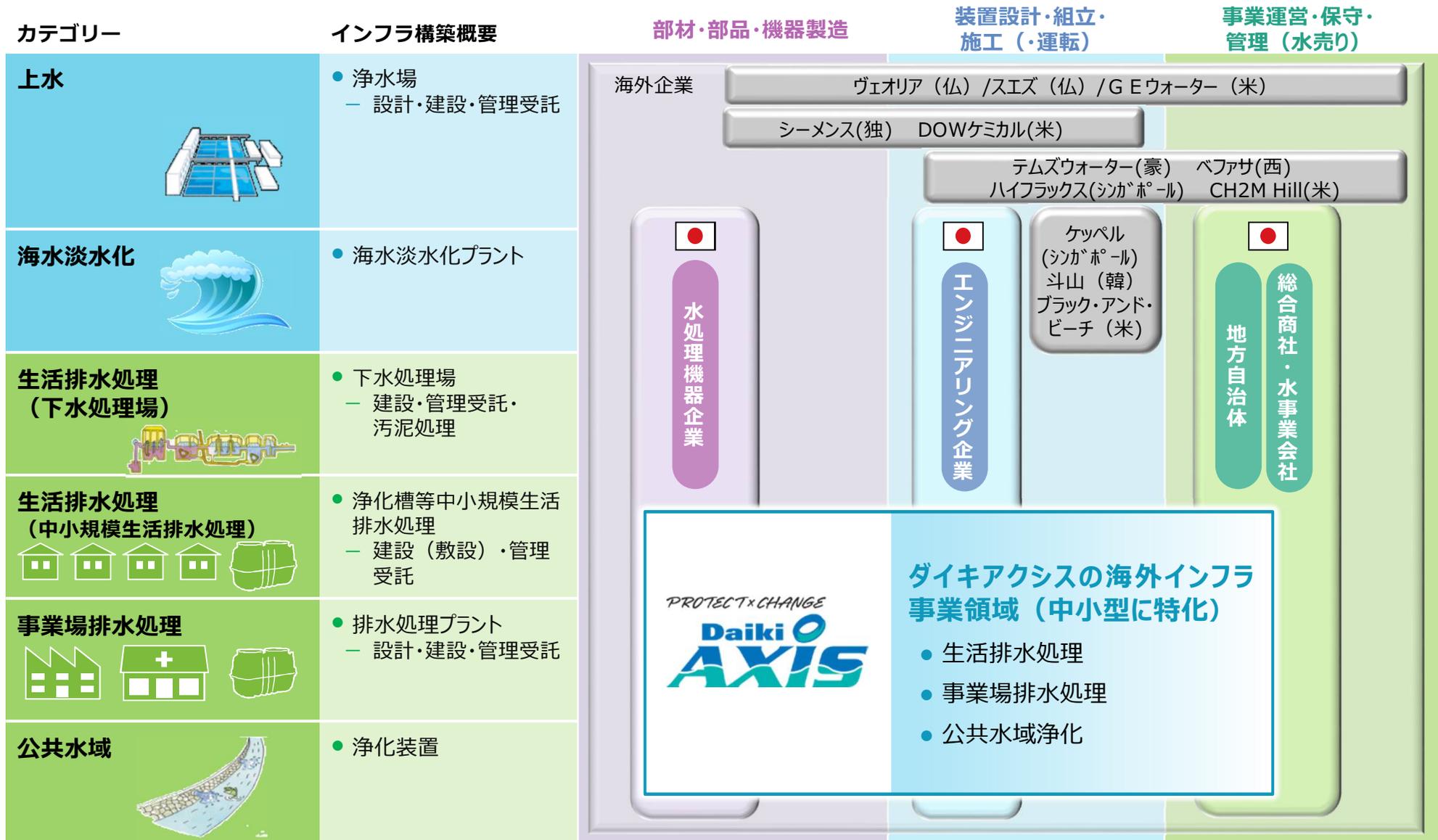
※特別要因を除いた場合の配当性向は28.8%

## 2. 成長戦略



## 2. 成長戦略 海外の水関連のインフラ構築

### 海外水インフラの 카테고리 / 主要3業務と各国・日本のプレーヤー

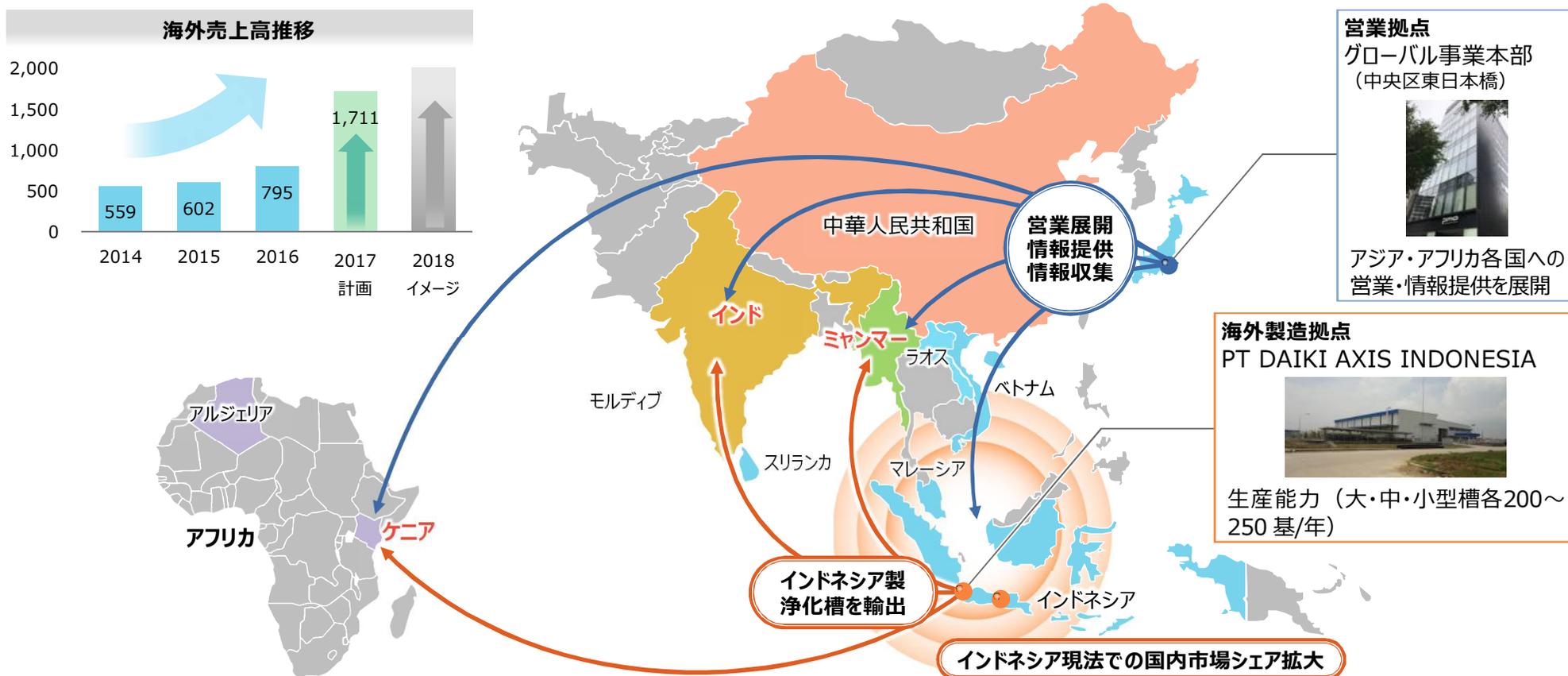


## 2. 成長戦略 海外の水関連のインフラ構築<アジア・アフリカ市場開拓>

- グローバル事業本部によるアジア市場開拓プロジェクトが本格稼働。ミャンマーにおける市場開拓に大幅な進展。インド・ケニアにおいてもトライアルマーケティングが進展し、今後の現地生産方針検討の段階に
- 政府（環境省）・浄化槽システム協会とも連携し、現地国政府・自治体との交流・レギュレーションシステム構築にも積極関与

### アジア・アフリカ各国における拡販戦略

海外売上高 2016年12月期 6億円 → 2018年12月期 12億円（当初計画）



## 2. 成長戦略 海外の水関連のインフラ構築<各国市場の状況>

- インドでは5社との代理店契約が進展しトライアルマーケティングは一定の成果、ミャンマーにおける市場開拓は着実に進展
- 安定供給体制を確立、販売状況を踏まえインドネシアからの輸出から現地生産への転換も検討
- 本拠地インドネシアで日系の伝手も生かし販路を開拓し大型案件を受注するなど、順調な伸展



### インド

- インド全土で18,000㎡超の産業施設、延床面積2000㎡以上の居住施設に対してBOD10と強化の予定

- 地域毎に5社の代理店契約を締結、2017年トライアルスタート以降、15基の浄化槽を納入
- トライアルマーケティングの結果を踏まえ現地工場生産への転換も見極め

#### 公衆トイレ

10㎡/day





### ミャンマー

- 最大都市ヤンゴンでは開発許認可当局であるYCDCが7.5階以上の新規開発申請の建物に浄化槽・排水処理施設を義務付け

- 月間5-15基の納入実績（2017年5月まで67基
- 旺盛な需要に対応し、優位性の確保を目的とした現地生産への転換も検討

#### 大規模マンション

200㎡/day





### インドネシア

- 新工場の生産能力増加により年間2~3億円程度まで売上が伸長
- 日系現地企業による大型開発プロジェクトへの開発案件への参画（トウキョウ・ランド（マンション開発）/イオンモールetc.）

#### 大規模マンション

- Tokyuland New Simatupang
- 製品：BJ-380 FRP円筒10本
- 場所：ジャカルタ





### ケニア・アフリカ

- ナイロビの新規代理店からの引き合いが急増

- 17/5-6で6基の輸出実績
- 今後アフリカ全域での拡販の可能性も視野にマーケティングを継続



### 中国

- 中国本土において、内陸部農村の環境改善のため浄化槽敷設を目的としたローカル企業がアプローチ。大量需要発生に備え調査を継続

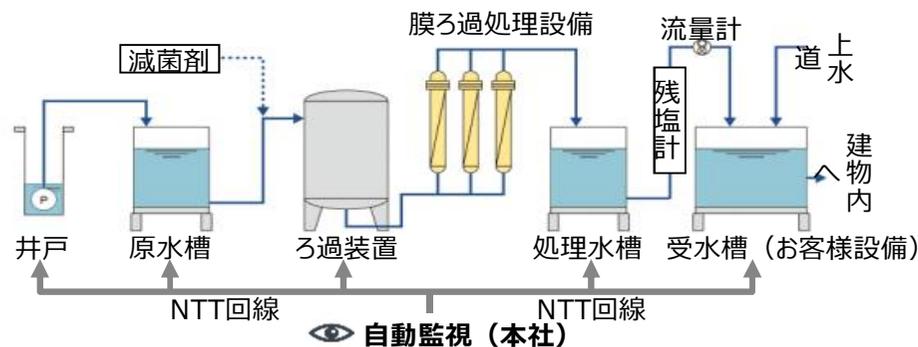
## 2. 成長戦略 スtockビジネス拡大 <上水事業(地下水飲料化)>

- 遠隔監視機能をもとに業界屈指の安定的な高度な水質供給を実現、水質への要求が高い病院・食品工場などで実績
- 水質ニーズの多様化とコスト削減要求を捉え、規定水質を確保したうえでのユニット化製品を開発、施設更新・ライフラインへの対応等をターゲットとした拡販を図る

### 当社システムの特長

24時間365日安定的な水質の供給を実現・特殊な水質ニーズを必要とする病院や食品加工工場などで大きな実績

- 残留塩素濃度や膜ろ過の作動状態など、システム監視
- 生物処理の技術を生かした特殊なる過器を導入し、アンモニア等も除去
- エスコ方式を選択導入、顧客の初期投資負担を抑制



### 足元の取組状況

#### ユニット化



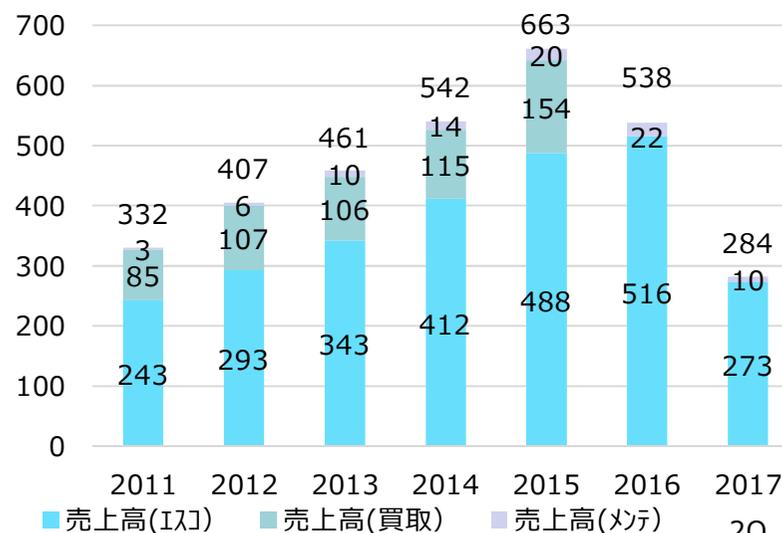
- プラント品質の安定化、施工コスト削減、工期短縮のためユニット化の実現 (30 ~ 100tタイプ)

#### 更新需要取組

- 他社にて導入後10年以上経過した設備について更新需要を見込み乗換営業を推進

### 導入件数・売上高の推移

方式別	エスコ	買取	業態別	
～2010年	23	9	病院	21
2011年	6	1	福祉施設	13
2012年	7	4	大型商業施設	12
2013年	7	2	スポーツジム	11
2014年	12	3	食品加工工場	11
2015年	8	5	ホテル	4
2016年	7	0	学校法人	3
2017年2Q	7	0	温浴施設	1
			その他	1
実績件数	77	24	実績件数	77



## 2. 成長戦略 製品開発 <高付加価値化>

- 価格競争が厳しい中、ディスポーザー型や産業排水で必要とされる油処理のニーズに対応
- 技術力を生かした高付加価値製品を主軸としつつ、量産型やランニングコスト低減型、省スペース型など市場の要求に合わせた製品を開発

### 開発ポリシー

#### 高付加価値化市場の開拓

- ディスポーザー排水処理システム
  - 集合住宅向け
- 高度な処理機能（産業排水）
  - 大型厨房向け生ゴミ完全処理型ディスポーザー
  - 油除外処理装置

#### 価格・品質競争力向上

- ランニングコスト低減型製品
- コンパクト化・省スペース化製品
- 量産化製品
  - コスト削減による価格競争力

### DAC-S（集合住宅用ディスポーザーシステム）

- ディスポーザー排水処理システムを用い便利で清潔な生活と、環境にも優しい水循環を実現
  - 法令によりディスポーザ設置の際は、専用の排水処理システムを設置、キッチンからの単独配管で排水処理システムに接続する必要
  - 処理フロー見直しにより、当社従来製品比で容量を25%以上削減
  - 食品工場・給食センター等大型厨房に向けた生ごみ排出ゼロ型の産業排水処理システムにも応用展開



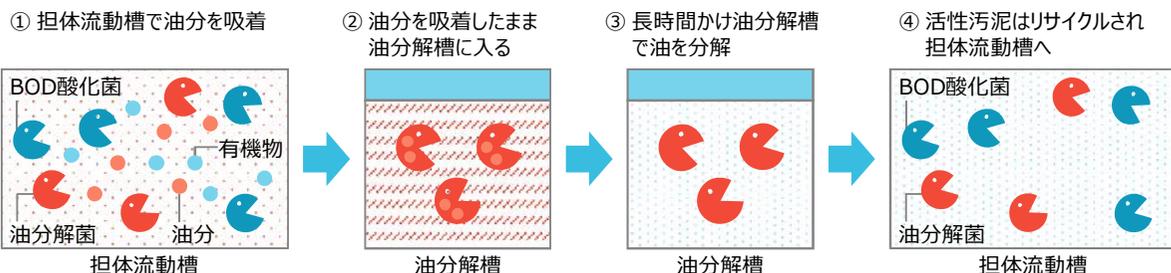
DAC-S型



下水道または  
浄化槽に接続

### コアリアクターOPA型（油分除去処理システム）

- 給食センター等大型厨房向けの産業排水における食用油等処理に対応した油分解菌を利用した画期的製品
  - 一般的な排水では油分よりもBODが多く、油分解菌が優占種にはなりにくい環境
  - 生物膜と活性汚泥の特長を生かし、活性汚泥に油分吸着機能を付与、油分解槽に油分を濃縮した環境を整備、油分解菌の優占化しやすい条件を整え効率的処理を実施



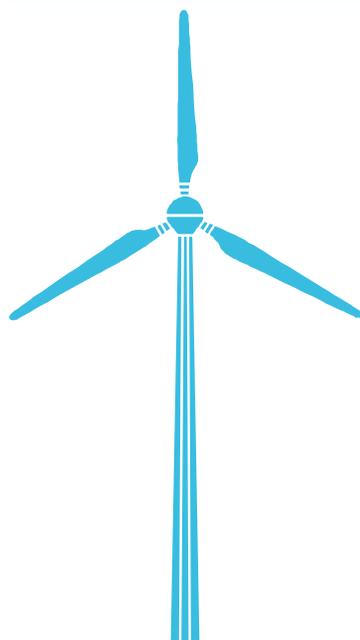
## 2. 成長戦略 小形風力発電機関連事業

- 当面の市場ニーズとしてのFIT用風力発電への対応のため、風力発電の研究成果を生かし水平軸方式の取扱開始予定
- 日本特有の乱気流にも対応できる垂直軸10KWの開発を推進、独立電源・FIT双方に対応

### FIT向け水平軸小形風力発電機

#### 水平軸方式の取扱開始予定

- 事業者からのFIT対応風力発電ニーズへの対応として、水平軸方式小形風力発電機の取扱を開始予定



Sylphid HS-10 (仮称)

- 乱流が多い日本の地形においては水平軸発電機の導入にはサイトを選ぶ能力が必須
- 風力発電機の研究実績に基づく設置の際のコンサルティングを実施
- 中国での実績が大きい Ginlong Technologies Co., Ltdの風車を採用し、大手国内電機メーカーのパワーコンディショナーを接続したシルフィードHS-10を認証申請

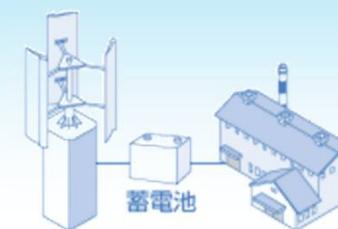
### 垂直軸方式実用化に向けた取り組み

- 2016年2月～VAS3.0マーケティングを開始（独立電源向け）
- VAS1.0（1KW）の製品化を予定
- より実用性の高いVAS10.0（10KW）に向け中長期的な開発プランを実行中
- 産官学での共同研究を実施

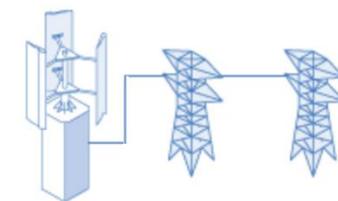
#### 独立電源ニーズ、FIT電源としてのVAS10.0の開発を開始



導入済VAS3.0  
(独立電源)



独立電源としての利用



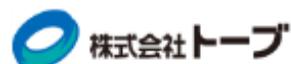
FIT

## 2. 成長戦略 M&Aの推進

- 戦略的M&Aにより規模の拡大と効率化を推進
- 国内に留まらず、海外も視野に技術力・開発力の高い企業および新規コア事業の発掘

### 企業グループの将来像、経営理念との整合および既存事業とのシナジー効果

#### 総合水処理装置の設計・施工 等



自動車関連企業を中心に好調な中部地域の基盤固め。事業拡大・強化に大きく貢献



#### 環境プラント事業等



無機系排水処理に関する豊富な経験と技術力を活用

#### インドネシア周辺国への排水処理装置の製造・販売



東南アジア需要の取り込み、海外展開の足掛かり



2007

2008

2011

2012

2013

2017

#### 株式会社トーセツ

トーブとメンテナンス事業において密接な取引関係、同時の事業承継が合理的と判断

※2017年1月株式会社トーブに吸収合併

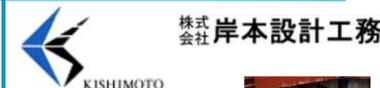
総合水処理装置の保守点検



再生可能エネルギーの将来性に着目し、小形風力発電機関連事業に参入



小形風力発電機の  
開発・製造・販売・施工



土木工事(推進工法)に関する技術力および当社とのシナジー効果に着目



土木工事(推進工法)、  
売電、不動産賃貸等

## 2. 成長戦略 M&Aの推進 <岸本設計工務 2017.3子会社化>

- M&A戦略の一環として、2017年3月28日に全国の推進工法を中心とした土木工事業の(株)岸本設計工務（松山）の株式を取得し子会社化
- 国内外における当社グループシナジーに活かすとともに、当社ネットワークを活用した収益拡大を目指す方針

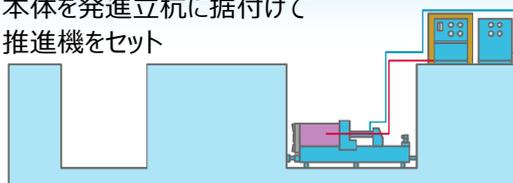
### 土木工事（推進工法）

- 愛媛および全国で一般土木工事（道路、河川、下水・上水道、宅地造成 等）を行う他、各種推進工事や管更生・ライニング・修繕工事を実施
- ダイキアクシスの全国土木・建設業者との広範な顧客基盤を活用

#### 推進工法の概要

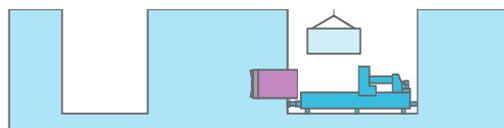
#### 1 推進器のセット

- 本体を発進立杭に据付けて推進機をセット



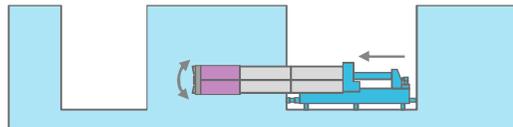
#### 2 管の接続

- 埋設管内に送排泥管、油圧ホース等を挿入、管を接続



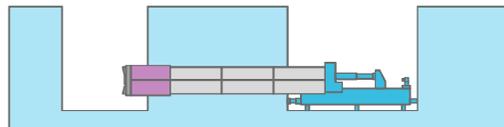
#### 3 埋設管の順次推進

- 方向修正を行いながら埋設管を順次推進



#### 4 到達立杭の到着

- 作業を反復、推進機が到達立杭に到着



### 太陽光発電事業

- 松山市近郊6箇所にて太陽光パネルを設置した売電事業を運営、安定収益源
- 太陽光発電事業の今後の展開について検討

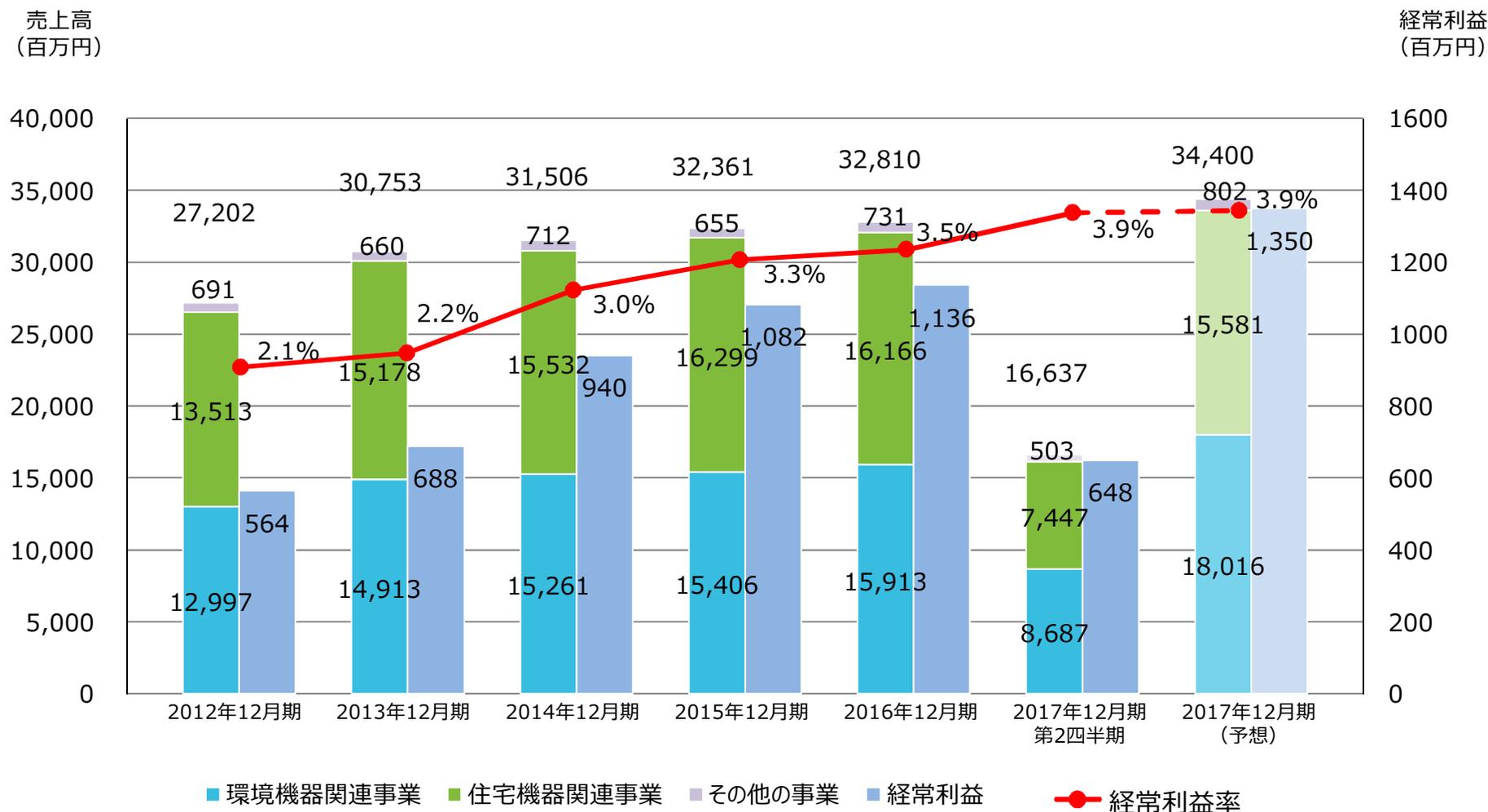


## Ⅲ.業績推移および株主還元

# 1. 連結業績推移

- 環境機器関連事業を中心に売上高は上場以来順調な増加
- 利益水準は堅調に推移、経常利益率は顕著な向上

## 連結売上高および経常利益の推移



## 2. 株主還元

### 配当推移

- 当社は、企業価値を継続的に拡大し、株主に対する利益還元を行うことを重要な経営課題と位置付けております。今後の配当政策と致しましては、株主への安定的な利益還元と会社の継続的な成長を実現するため、各期の連結業績、配当性向および内部留保を総合的に勘案した上で配当を行っていくことを基本方針とし、当面、連結配当性向25%以上を目途に取り組んでまいります。最終的には30%まで引き上げることを目標といたします。

	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期	2017年12月期 (予想)
第2四半期末	11.0 円	15.0円	15.0円	20.0円
期末	19.0 円 (内記念配当3.0円)	15.0円	15.0円	10.0円 (20.0円※)
合計	30.0 円 (内記念配当3.0円)	30.0 円	30.0 円	30.0円 (40.0円※)
配当性向	25.1%	54.5%	28.0%	28.5%

(注) 2014年12月期記念配当 = 東京証券取引所市場第一部への指定記念

(注) 特別要因（特別利益・特別損失・過年度法人税等）を除いた場合の2015年12月期配当性向は28.8%

(※) 株式分割前換算

### 株主優待

- 2016年11月11日開催の取締役会において、株主優待制度の導入を決定
- 2017年も下記内容にて実施予定

保有株式数	優待内容
100株以上	オリジナルQUOカード 1,000円相当分

### 株式分割

- 2017年4月21日開催の取締役会において、株式分割とそれに伴う定款の一部変更及び配当予想の修正について決議

1. 株式分割
  - 基準日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割を行う
2. 基準日
  - 2017年6月30日

【ご参考】※100株（1単元）を1年間保有いただく事を想定

ご出資 1,295円×100株 = 129,500円 ※2017/09/15終値1,295円で算定

配当 10.0円×100株×2 = 2,000円 ※1株あたり配当金を第2四半期末10.0円・期末10.0円で算定

優待 オリジナルクオカード = 1,000円分 優待配当利回り 2.32% ※(2,000+1,000)÷129,500円×100

### 3. 株価・出来高推移

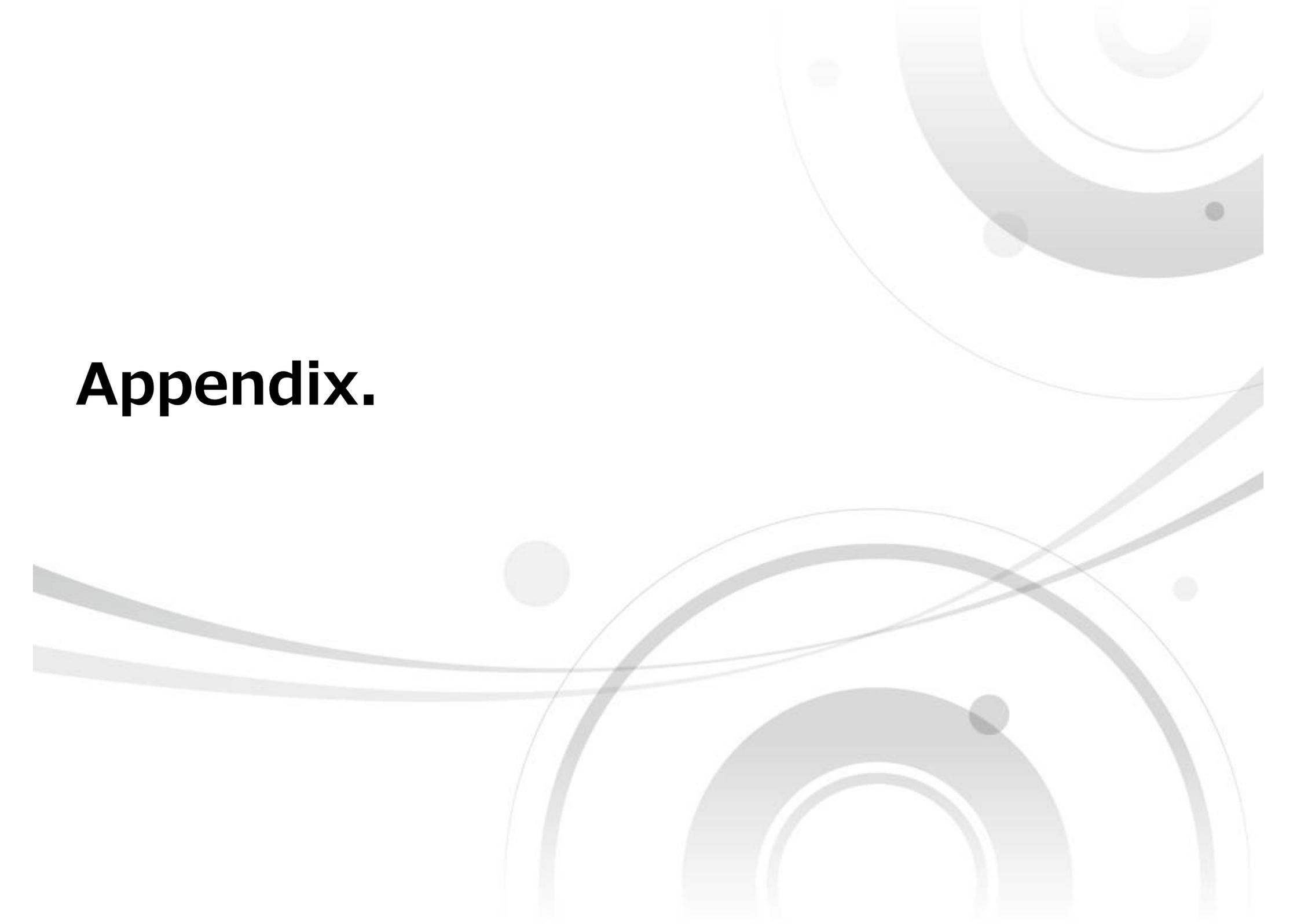
(2013/12/19～2017/09/15終値ベース)



株価	1,295円	(2017/09/15時点)
時価総額	16,069百万円	(2017/09/15時点)
発行済株式数	12,408,800株	(単元株：100株)

(注) 株価は株式分割調整後の終値になります。

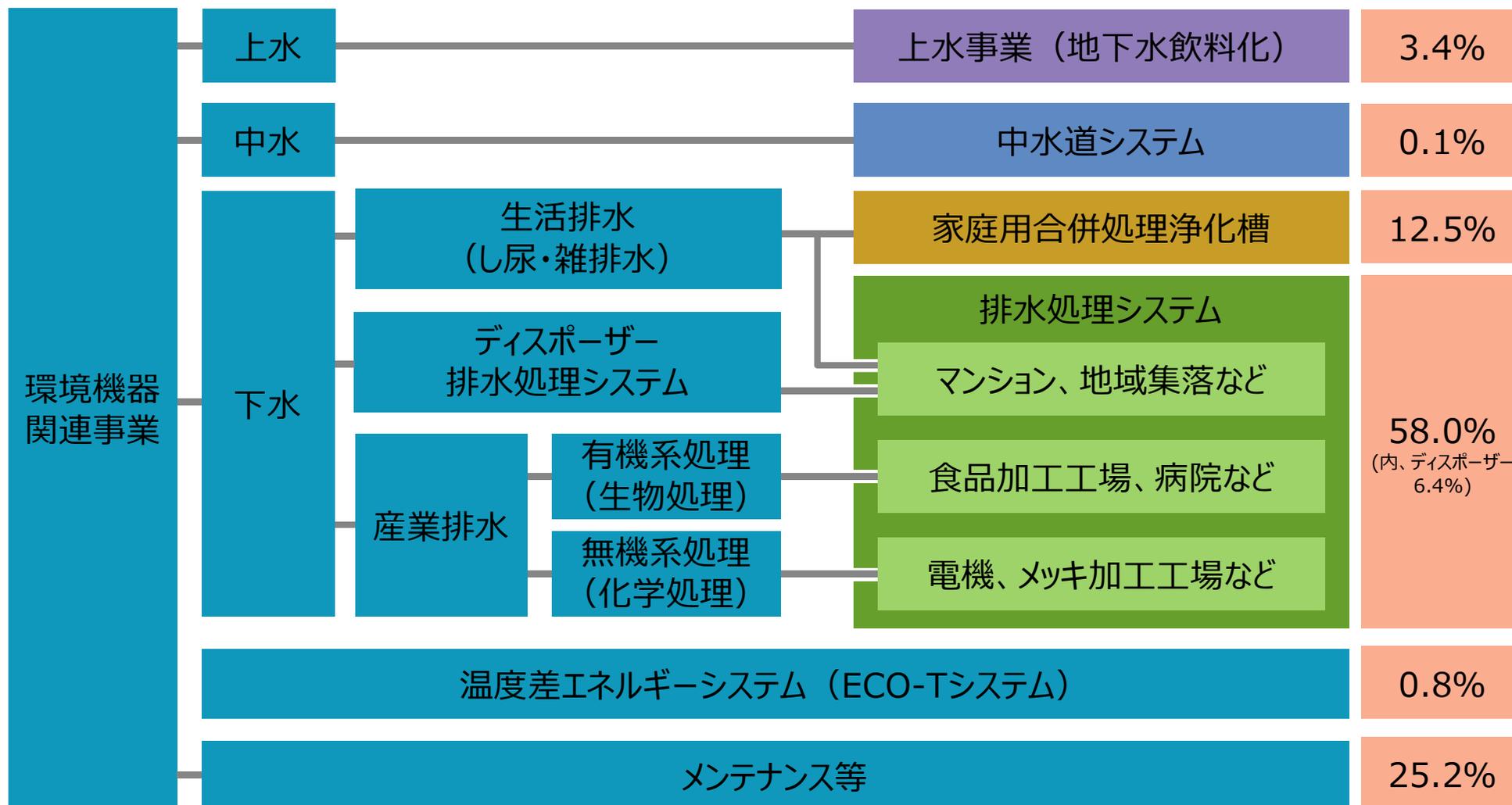
# Appendix.



# 1. 環境機器関連事業の売上構成

■ 環境機器関連事業は、上水、中水、下水の全てに対応

2016年12月期 環境機器関連事業売上高159.1億円における売上構成



### 3. 2017年12月期 第2四半期 経営成績(1)連結損益計算書

(単位：百万円)

	2016年12月期 第2Q累計		2017年12月期 第2Q累計		2017年12月期 第2Q累計				備考
	(実績)	構成比 (%)	(計画)	構成比 (%)	(実績)	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)	
売上高	16,009	100.0	17,016	100.0	16,637	100.0	103.9	97.8	
環境機器関連事業	7,966	49.8	9,077	53.3	8,686	52.2	109.0	95.7	
住宅機器関連事業	7,692	48.1	7,590	44.6	7,447	44.8	96.8	98.1	
その他の事業	350	2.2	347	2.0	503	3.0	143.8	144.8	
売上総利益	3,074	19.2	3,375	19.8	3,272	19.7	106.4	97.0	
販売費および一般管理費	2,596	16.2	2,727	16.0	2,681	16.1	103.3	98.3	
営業利益	477	3.0	647	3.8	590	3.6	123.7	91.2	
経常利益	595	3.7	681	4.0	648	3.9	109.0	95.2	
親会社株主に帰属する 当期純利益	372	2.3	417	2.5	379	2.3	101.8	90.9	

	2016年12月期 第2Q累計(実績)	2017年12月期 第2Q累計(実績)	備考
設備投資	157	124	2016年12月期2Q：上水事業100百万、クリクラ事業37百万円等 2017年12月期2Q：上水事業72百万
減価償却実施額	166	192	

### 3. 2017年12月期 第2四半期 経営成績(2)セグメント別

#### ① 環境機器関連事業

(単位：百万円)

	2016年12月期 第2Q累計		2017年12月期 第2Q累計		2017年12月期 第2Q累計				備考
	(実績)	構成比 (%)	(計画)	構成比 (%)	(実績)	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)	
環境機器関連事業 売上高	7,966	100.0	9,077	100.0	8,686	100.0	109.0	95.7	
浄化槽・排水処理 システム(※)	7,705	96.7	8,733	96.2	8,402	96.7	109.0	96.2	
(※内、海外売上高)	394	5.0	1,072	11.8	908	10.5	230.3	84.7	中国大型物件完成
(※内、メンテナンス)	2,011	25.2	2,104	23.2	2,088	24.0	103.9	99.2	
上水事業	260	3.3	344	3.8	284	3.3	109.2	82.6	
環境機器関連事業 営業利益	570	7.2	875	9.6	762	8.8	133.5	87.1	

### 3. 2017年12月期 第2四半期 経営成績(2)セグメント別

#### ② 住宅機器関連事業

(単位：百万円)

	2016年12月期 第2Q累計		2017年12月期 第2Q累計		2017年12月期 第2Q累計				備考
	(実績)	構成比 (%)	(計画)	構成比 (%)	(実績)	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)	
住宅機器関連事業 売上高	7,692	100.0	7,590	100.0	7,447	100.0	96.8	98.1	
建設関連業者等	5,748	74.7	5,090	67.1	5,589	75.0	97.2	109.8	
ホームセンターリテール 商材	1,150	15.0	1,277	16.8	1,148	15.4	99.8	89.9	
住機部門工事	793	10.3	1,222	16.1	709	9.5	89.4	58.1	外壁工事の減少
住宅機器関連事業 営業利益	262	3.4	227	3.0	269	3.6	102.6	118.5	利益率の改善

### 3. 2017年12月期 第2四半期 経営成績(2)セグメント別

#### ③ その他の事業

(単位：百万円)

	2016年12月期 第2Q累計		2017年12月期 第2Q累計		2017年12月期 第2Q累計				備考
	(実績)	構成比 (%)	(計画)	構成比 (%)	(実績)	構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)	
その他の事業 売上高	350	100.0	347	100.0	503	100.0	143.8	144.8	
クワクラ事業	267	76.4	279	80.4	265	52.7	99.2	94.8	
バイオディーゼル 燃料関連事業	81	23.3	61	17.6	44	8.9	55.1	72.8	今期プラント販売なし
小形風力発電機 関連事業	1	0.4	6	1.7	6	1.4	541.9	110.4	
その他	0	0.0	0	0.0	186	37.0	—	—	岸本設計工務の子会社化
その他の事業 営業利益	15	4.6	△1	△0.4	△17	△3.4	—	—	

## 4. 2017年12月期 通期業績予想(1)連結損益計算書

(単位：百万円)

	2016年12月期 (実績)				2017年12月期 (予想)						備考
	下期		構成比 (%)	構成比 (%)	下期		前期比 (%)	構成比 (%)	前期比 (%)		
	構成比 (%)	構成比 (%)			構成比 (%)	前期比 (%)					
売上高	16,801	100.0	32,810	100.0	17,762	100.0	105.7	34,400	100.0	104.8	
環境機器関連事業	7,946	47.3	15,913	48.5	9,329	52.5	117.4	18,016	52.4	113.2	
住宅機器関連事業	8,473	50.4	16,166	49.3	8,133	45.8	96.0	15,581	45.3	96.4	
その他の事業	381	2.3	731	2.2	298	1.7	78.4	802	2.3	109.7	
売上総利益	3,140	18.7	6,214	18.9	3,523	19.8	112.2	6,796	19.8	109.4	
販売費および一般管理費	2,687	16.0	5,283	16.1	2,964	16.7	110.3	5,646	16.4	106.9	
営業利益	453	2.7	931	2.8	559	3.1	123.4	1,150	3.3	123.5	
経常利益	541	3.2	1,136	3.5	701	3.9	129.6	1,350	3.9	118.8	
親会社株主に帰属する当期純利益	275	1.6	648	2.0	470	2.6	170.7	850	2.5	131.1	

	2016年12月期 (実績)	2017年12月期 (予想)	備考
設備投資	343	492	2016年12月期：上水事業231百万等 2017年12月期：上水事業377百万、 浄化槽製造設備72百万等
減価償却実施額	340	320	

(注1) 当初計画からの修正はありません。

(注2) 各セグメント利益の合計額と連結損益計算書上額との差額は、セグメント間取引消去および全社費用の額になります。

## 4. 2017年12月期 通期業績予想(2)セグメント別

### ① 環境機器関連事業

(単位：百万円)

	2016年12月期 (実績)				2017年12月期 (予想)						備考
	下期				下期						
	構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)		
環境機器関連事業 売上高	7,946	100.0	15,913	100.0	9,329	100.0	117.4	18,016	100.0	113.2	
浄化槽・排水処理 システム (※)	7,669	96.5	15,374	96.6	8,873	95.1	115.7	17,275	95.9	112.4	
(※内、海外売上高)	401	5.1	795	5.0	803	8.6	200.1	1,711	9.5	215.0	中国大型案件等
(※内、メンテナンス)	2,005	25.2	4,016	25.2	2,068	22.2	103.2	4,157	23.1	103.5	
上水事業	277	3.5	538	3.4	456	4.9	164.4	740	4.1	137.7	
環境機器関連事業 営業利益	628	7.9	1,198	7.5	918	9.8	146.2	1,680	9.3	140.2	

(注1) 当初計画からの修正はありません。

(注2) 各セグメント利益の合計額と連結損益計算書上額との差額は、セグメント間取引消去および全社費用の額になります。

## 4. 2017年12月期 通期業績予想(2)セグメント別

### ② 住宅機器関連事業

(単位：百万円)

	2016年12月期（実績）				2017年12月期（予想）						備考
	下期				下期						
	構成比 （%）		構成比 （%）		構成比 （%）	前期比 （%）		構成比 （%）	前期比 （%）		
住宅機器関連事業 売上高	8,473	100.0	16,166	100.0	8,133	100.0	96.0	15,581	100.0	96.4	
建設関連業者等	5,195	61.3	10,944	67.7	4,872	59.9	93.8	10,461	67.1	95.6	
ホームセンターリテール 商材	1,316	15.5	2,467	15.3	1,501	18.5	114.1	2,649	17.0	107.4	
住機部門工事	1,961	23.1	2,755	17.0	1,760	21.6	89.7	2,470	15.9	89.6	
住宅機器関連事業 営業利益	235	2.8	497	3.1	188	2.3	80.3	457	2.9	92.0	

(注1) 当初計画からの修正はありません。

(注2) 各セグメント利益の合計額と連結損益計算書上額との差額は、セグメント間取引消去および全社費用の額になります。

## 4. 2017年12月期 通期業績予想(2)セグメント別

### ③ その他の事業

(単位：百万円)

	2016年12月期（実績）				2017年12月期（予想）						備考
	下期		構成比 (%)	構成比 (%)	下期			構成比 (%)	増減率 (%)		
	構成比 (%)	構成比 (%)			構成比 (%)	前期比 (%)					
その他の事業 売上高	381	100.0	732	100.0	298	100.0	78.4	802	100.0	109.7	
クリラ事業	294	77.2	562	76.8	324	108.7	110.4	590	73.6	105.0	
バイオディーゼル 燃料関連事業	45	12.0	127	17.4	123	41.3	269.3	168	20.9	132.1	
小形風力発電機 関連事業	41	10.8	42	5.8	37	12.4	90.0	44	5.5	103.4	
その他の事業 営業利益	6	1.6	22	3.0	56	18.9	908.6	39	4.9	177.6	

(注1) 当初計画からの修正はありません。

(注2) 各セグメント利益の合計額と連結損益計算書上額との差額は、セグメント間取引消去および全社費用の額になります。

ご清聴ありがとうございます

# PROTECT×CHANGE

水にかかわるインフラを創造します

## IRに関するお問い合わせ先

株式会社ダイキアク시스 経営管理本部 経営企画部 経営企画課

電話：089-927-1122

e-mail：[ir@daiki-axis.com](mailto:ir@daiki-axis.com)

I R メール配信サービスを開始いたしました

<http://www.daiki-axis.com/ir/info/magazine.html>

## 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

証券コード：4245（東証1部）